# 教科別授業改善推進プラン（音楽科）

１　昨年度の授業改善推進プランの検証

（1)成果

・歌唱では、音程やリズムが難しい部分は繰り返し歌い、正しい音程で自信をもって歌うことにつながった。

・器楽では、タンバリンやカスタネットなど身近な打楽器で拍の流れにのって演奏したり、電子鍵盤、木琴、鉄琴などの奏法に慣れて合奏したりすることができた。

・鑑賞では、感じとったことを言語化できるようになってきた。また、曲の良さや面白さに気づきながら聴くことができるようになってきた。

（2)課題

・歌唱では、正しい姿勢と音程で友達の声を聴きながら歌ったり、合唱のハーモニーを体感したりする。

・器楽では、鍵盤ハーモニカやリコーダーの技能に差があり、演奏に自信のない児童が多いため、全員に基本的な技能を身につけさせるようにする。

・鑑賞では、音楽を形づくっている要素と曲想の関わり合いを感じとって、曲の特徴や良さから曲を文章で書くことができる。

２　重点課題

| | |
|---|---|
| １年 | ・拍に合わせてリズムを打つこと。<br>・正しい運指で鍵盤ハーモニカを演奏すること。<br>・歌詞の様子を思い浮かべながら歌うこと。 |
| ２年 | ・拍に合わせて歌ったり、演奏したりすること。<br>・正しい運指で鍵盤ハーモニカを演奏すること。<br>・器楽では、互いの音を聴き合って合わせて演奏すること。 |
| ３年 | ・歌唱では呼吸及び発音の仕方に気をつけて、自然で無理のない声で歌うこと。<br>・リコーダーでは姿勢・息の強さ・運指・タンギングに気を付けて吹くこと。 |
| ４年 | ・歌唱では、体全体を使うことを意識しながら、柔らかく響きのある声でどのように歌うか思いや意図をもって取り組むこと。<br>・器楽では、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏すること。 |
| ５年 | ・歌唱ではパートの役割を考えながら二部合唱に取り組み、それぞれのパートを豊かな響きで合唱すること。<br>・鑑賞では音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、音楽の特徴と感じたことの関わりを理解して聴くこと。 |
| ６年 | ・歌唱では体を使った豊かな響きで、他のパートや全体の声の響きを感じながら、一人一人が声を出して合唱すること。<br>・器楽ではその曲の特徴を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって各声部の楽器の音や全体の響きを聴いて、演奏すること。 |

３　授業改善策

| | |
|---|---|
| １年 | ・曲に合わせて体を動かしたり、拍に気を付けていろいろなリズムを打ったりする。<br>・鍵盤ハーモニカの正しい運指を友達と確かめ合ったり、個別に指導したりしていく。<br>・歌詞から様子を思い浮かべ、歌詞の様子を動作化して指導する。 |
| ２年 | ・拍をとれるようにリズムを打つ学習活動を継続して行う。<br>・鍵盤ハーモニカの正しい運指を友達と確かめ合ったり、個別に指導したりしていく。<br>・少人数で合わせ、少しずつ音の重なりを感じられるようにする。 |
| ３年 | ・体の使い方を意識できる活動を取り入れ、無理な力を入れずに歌えるようにしていく。<br>・リコーダーでは姿勢、息の強さ、タンギングに気を付けながら、新しい運指を使って演奏できるようにスモールステップで指導する。 |
| ４年 | ・体の使い方に気を付けながら、歌詞の意味を考えどのように歌いたいか自分の考えをもつ。<br>・他のパートがどのように動いているかを理解しながら演奏に取り組み、音が合う楽しさを感じられるようにする。 |
| ５年 | ・主旋律がどのパートか、どのような音で支えられているかを理解し、互いの声を聴き合いながら歌えるようにする。<br>・ICT を活用して音楽をつくる要素の関わりに気づき、「なぜそう感じたのか」を感性と知識を結びつけて考え、周りと意見を交わしながら自分の考えを深められるようにする。 |
| ６年 | ・自分のパートも他のパートも、旋律をしっかりと覚えて歌うことができるようにし、和声の響きを感じ取って合唱することができるように指導する。<br>・周りと相談したり録音を聴いてふり返ったりしながら、自分のパートの役割と他の声部との関係を理解し、それをふまえて演奏できるようにする。 |
| 共通 | ・器楽ではスモールステップで指導し、基本的な技能を身に付ける。<br>・歌唱では歌う前に姿勢を確認し、正しい姿勢で歌う。また、合唱のハーモニーを体験するために二部合唱に取り組む。<br>・鑑賞では ICT を活用し周りと意見を交わすことで、音楽を形づくっている要素と曲想の関わり合いを感じとって、曲の特徴や良さから曲を文章で書くことができるようにする。 |